

産業厚生常任委員会 資料

令和元年 12 月 4 日

上 下 水 道 部

目 次

- 1 水道料金・下水道使用料の検討状況について…………… P1～2、資料 1-1、1-2
- 2 統合浄水場整備事業の進捗について…………… P3
- 3 下水処理場統合整備事業の進捗について…………… P4～8

1. 水道料金・下水道使用料の検討状況について

1. 検討の背景等

国は、料金算定の基準を明らかにするため、料金の算定期間は、料金の安定性、期間的な負担の公平、原価把握の妥当性及び事業体の経営責任の面など諸々の要素を考慮した場合、3年から5年程度を基準に見直しすることが妥当としている。

このため、平成31年3月策定の加東市水道ビジョン及び加東市下水道ビジョン（計画期間：令和元年度から令和10年度まで）に掲げる施策目標において、水道料金及び下水道使用料の適正化を実現方策に定めており、今後の事業計画の進捗や水需要の動向を踏まえ、適正な料金・使用料体系について、令和2年度を初年度とし、以後4年ごとに検討することとしている。

したがって、現行の水道料金・下水道使用料の水準及び体系に関する調査・審議を行い、令和2年度以降からの改定の可否等を検討しようとするものである。

2. 検討に向けた前提条件の確認

- (1) これまでの経営改善策の進捗状況の確認
- (2) 既存の財政計画の再検討、必要に応じて財政シミュレーションの修正を行うことで、水道料金・下水道使用料の改定が必要と判断した場合の基礎固めを実施

【図表1 検討に向けた前提条件の確認】

		料金・使用料算定の基礎となる財政計画の更新	
経営の視点	財政計画の策定・更新	・財政計画の今後の大規模更新等の反映 ・企業債充当率の検討 ・赤字や資金ショートが発生時期は正確か ・経費は伸び率や物価上昇率により算出 ・投資（更新需要）計画は過大になっていないか点検	【ツール】 経営戦略の財政シミュレーション（投資・財政計画）を引き継ぐ
	料金・使用料水準の算定（総括原価の算定）	財政計画を正しく読み取り、事業経営に必要な料金・使用料水準を検討 ・財政計画を基にした総括原価（＝水道の給水・下水道の排水等に必要な総コスト）を算定 ・総コストを回収し、持続可能な経営に必要な料金・使用料の水準を検討 ・適切な資産維持費の設定	【ツール】 国が依頼して策定された（公社）日本水道協会発行「水道料金改定業務の手引き」、（公社）日本下水道協会発行「下水道使用料算定の基本的な考え方」に示されている方法に基づき行う

顧客の視点	料金・使用料体系の設定 (個別原価の算定)	事業内容と使用者の実情に合った合理的な料金・使用料体系を検討	
		・総コストを個々の給水等に要するコストに分解・配賦 ・需要家費、固定費、変動費への割合をどうするか ・基本料金と従量料金のバランスをどうするか ・適切な逓増度の設定	①現行料金体系を維持した体系案 ②算定要領に基づく理論的な体系案（料金適正化：事業者の視点） ③理論と現状を踏まえた体系案（少量使用者への配慮：使用者の視点）
政策の視点	料金・使用料体系案の作成	上記を踏まえた複数パターンの料金・使用料体系案を提案	
		・改定時期のタイミングや改定幅の検討 ・激変緩和措置 ※最善の体系を提案する	①国の動向や北播磨管内の状況 ②市の方針（政策意向）等を踏まえて改定にあたって考慮すべき事項を洗い出す

3. 検討の状況

適正な水道料金・下水道使用料について、加東市水道事業及び下水道事業運営審議会に諮問し、審議会では料金及び使用料の水準と体系案の検討を進めている。

(1) 検討スケジュール

- ・これまでの審議会の開催内容及び今後の予定（資料1-1）

(2) 検討ポイント

- ・事業の持続性という観点から、更新需要及び財政計画案は50年間で試算
- ・期間的負担の公平への配慮
- ・試算の結果、水道事業は将来の持続性が危ぶまれ、下水道事業は経営が好転する見通し
- ・将来シミュレーションの結果を踏まえた水道料金の改定と下水道使用料の現行維持
- ・水道料金算定要領に基づく料金算定結果と改定シミュレーションによる体系案（協議中）

(3) 検討資料（資料1-2）

- ・第2回審議会資料「財政計画からの更新需要及び財政収支見通し」

4. 議会（産業厚生常任委員会）への報告、市民（需要者）への検討状況等の周知予定

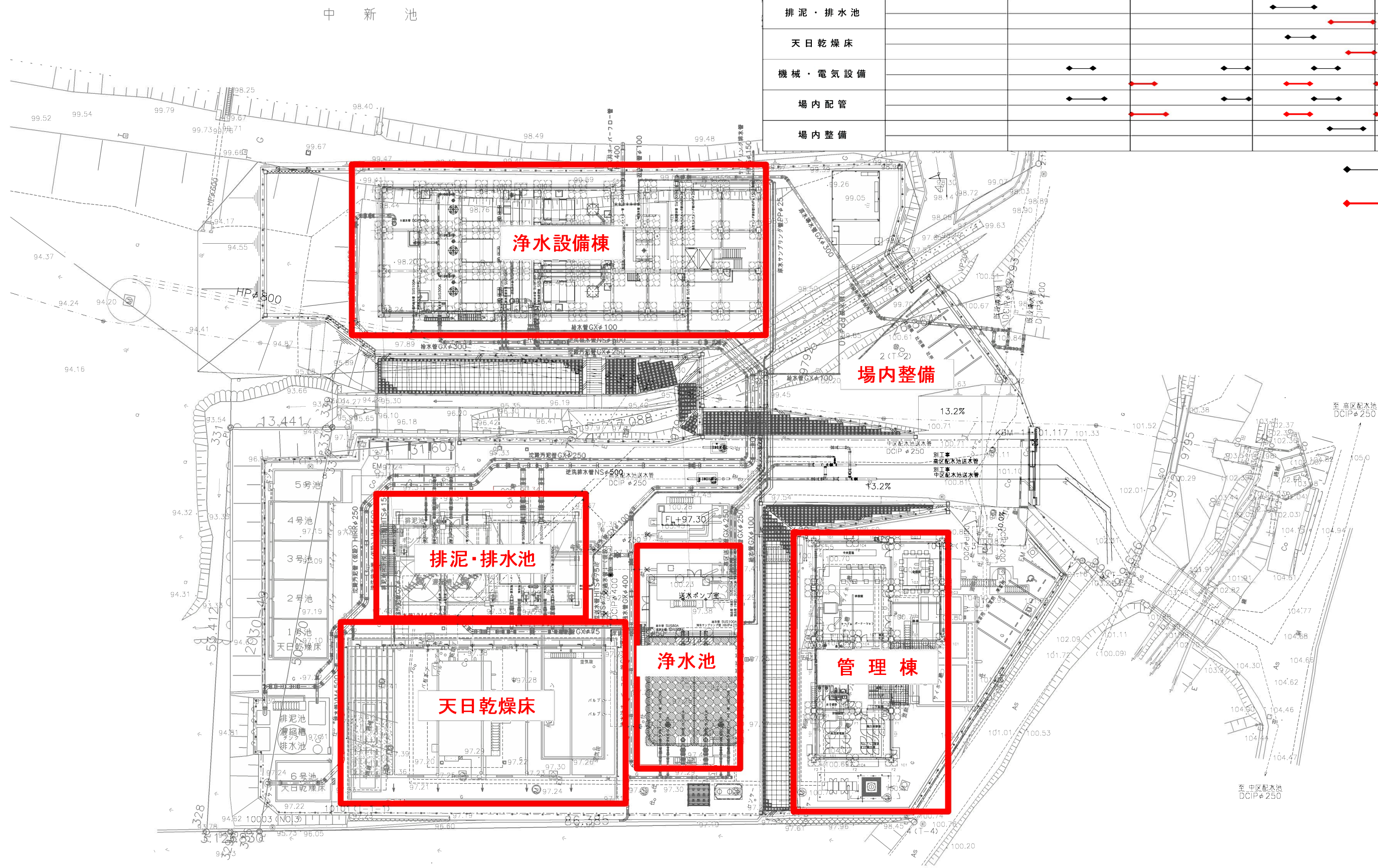
(1) 答申内容の報告（令和2年度の産業厚生常任委員会で報告）

(2) 市民（需要者）への検討状況等の周知（広報、市ホームページへの随時掲載で周知）

2. 統合浄水場整備事業の進捗について

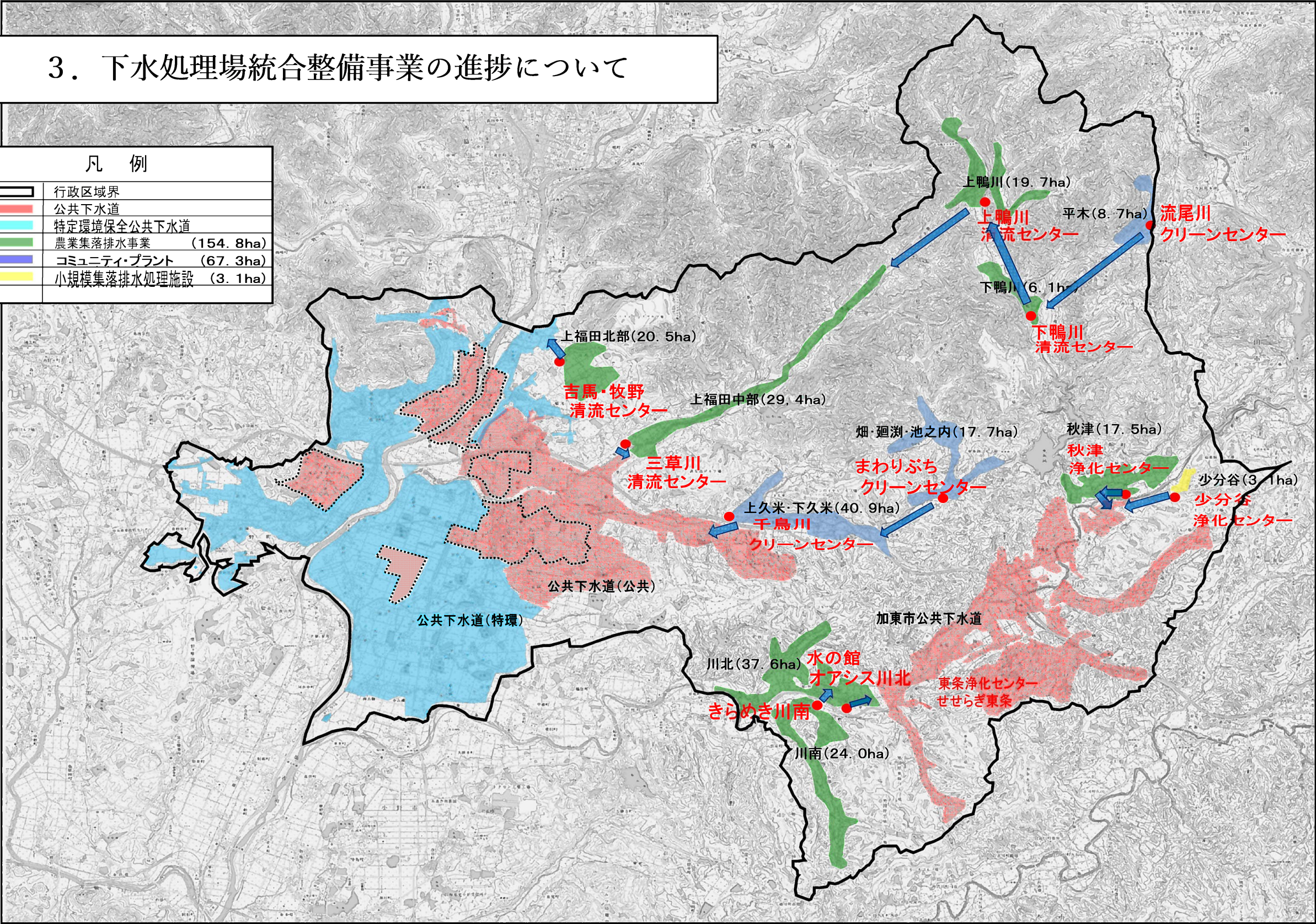
建設工事	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05
浄水設備棟	◆	◆			
管理棟			◆	◆	
浄水池			◆	◆	
排泥・排水池				◆	◆
天日乾燥床				◆	◆
機械・電気設備		◆	◆	◆	◆
場内配管		◆	◆	◆	◆
場内整備				◆	◆

◆ ◆ 当初工程
◆ ◆ 変更工程



3. 下水処理場統合整備事業の進捗について

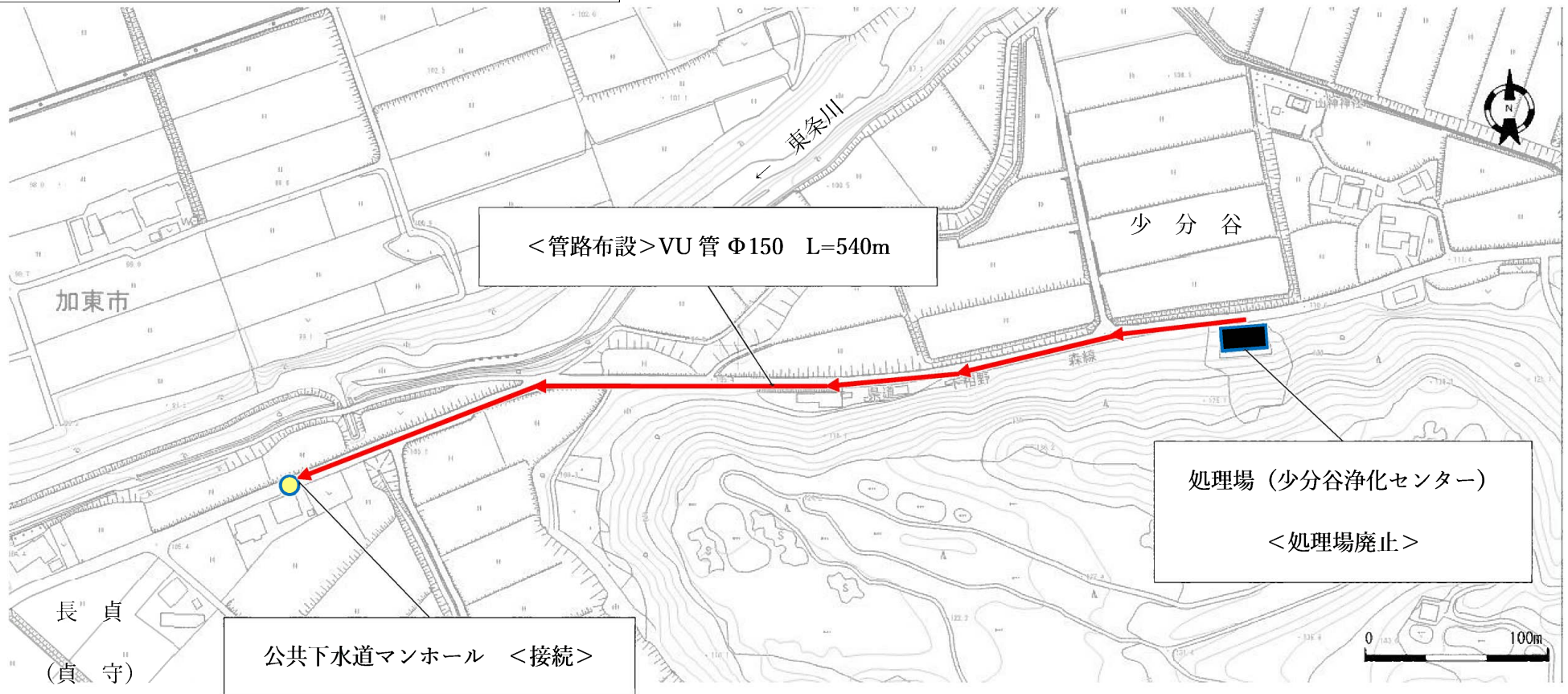
凡 例	
	行政区域界
	公共下水道
	特定環境保全公共下水道
	農業集落排水事業 (154.8ha)
	コミュニティ・プラント (67.3ha)
	小規模集落排水処理施設 (3.1ha)



地 区	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	備 考
少分谷地区 (小規模排水) ①	設計	工事								
秋津地区 (農業集落排水) ②	設計	工事								
川南地区 (農業集落排水)		設計	工事							
川北地区 (農業集落排水)			設計	工事						
上福田中部地区 (農業集落排水)					設計	工事				
上福田北部地区 (農業集落排水)				設計	工事					
上鴨川地区 (農業集落排水)					設計	工事				
下鴨川地区 (農業集落排水) ③		工事				設計	工事			R02: 地元施工の舗装工事予定のため、先行埋設
畑・廻淵・池之内地区 (コミュニティプラント)		設計	工事							
上久米・下久米地区 (コミュニティプラント) ④	設計	工事								
平木地区 (コミュニティプラント)							設計	工事		

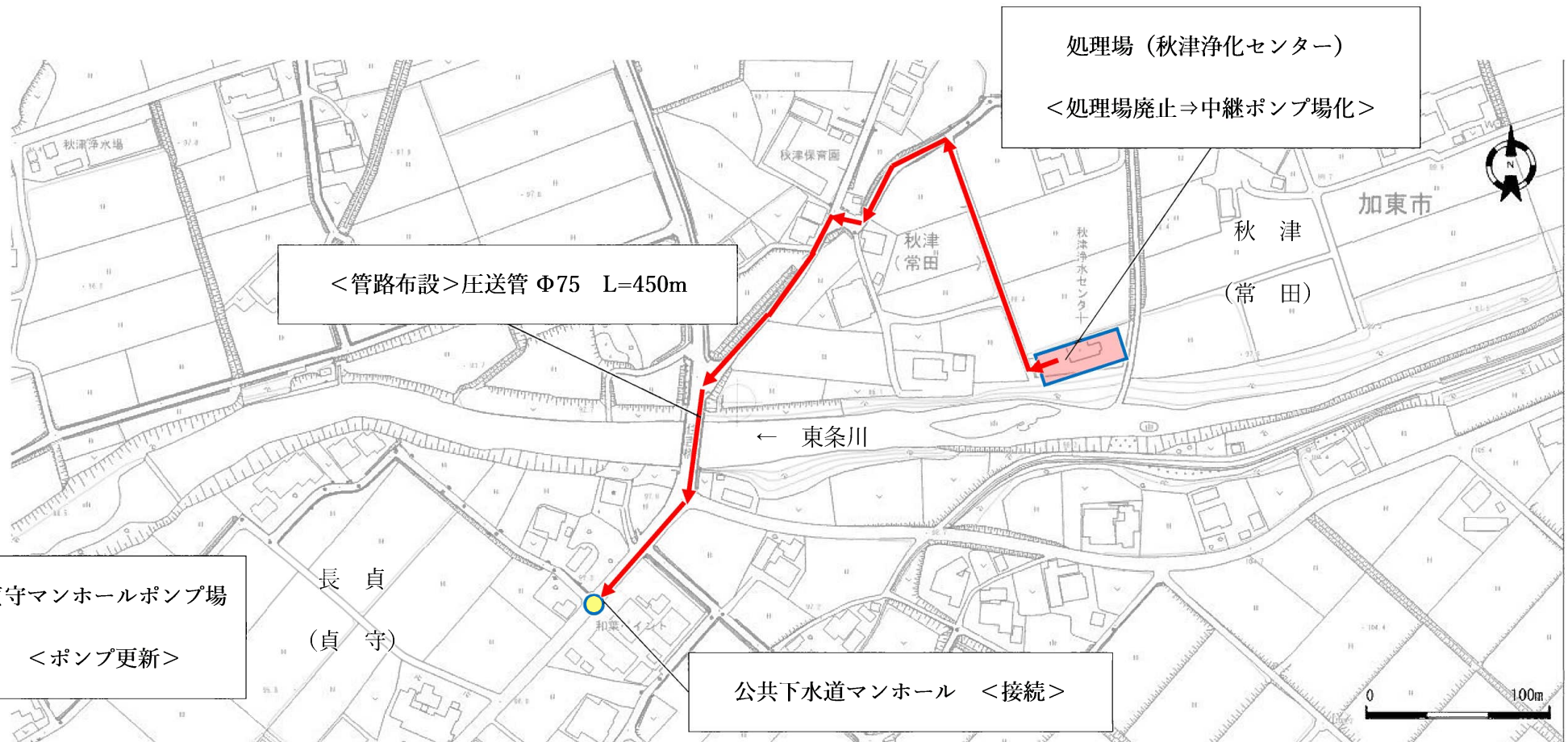
3. 下水処理場統合整備事業の進捗について

①少分谷地区<計画平面図>



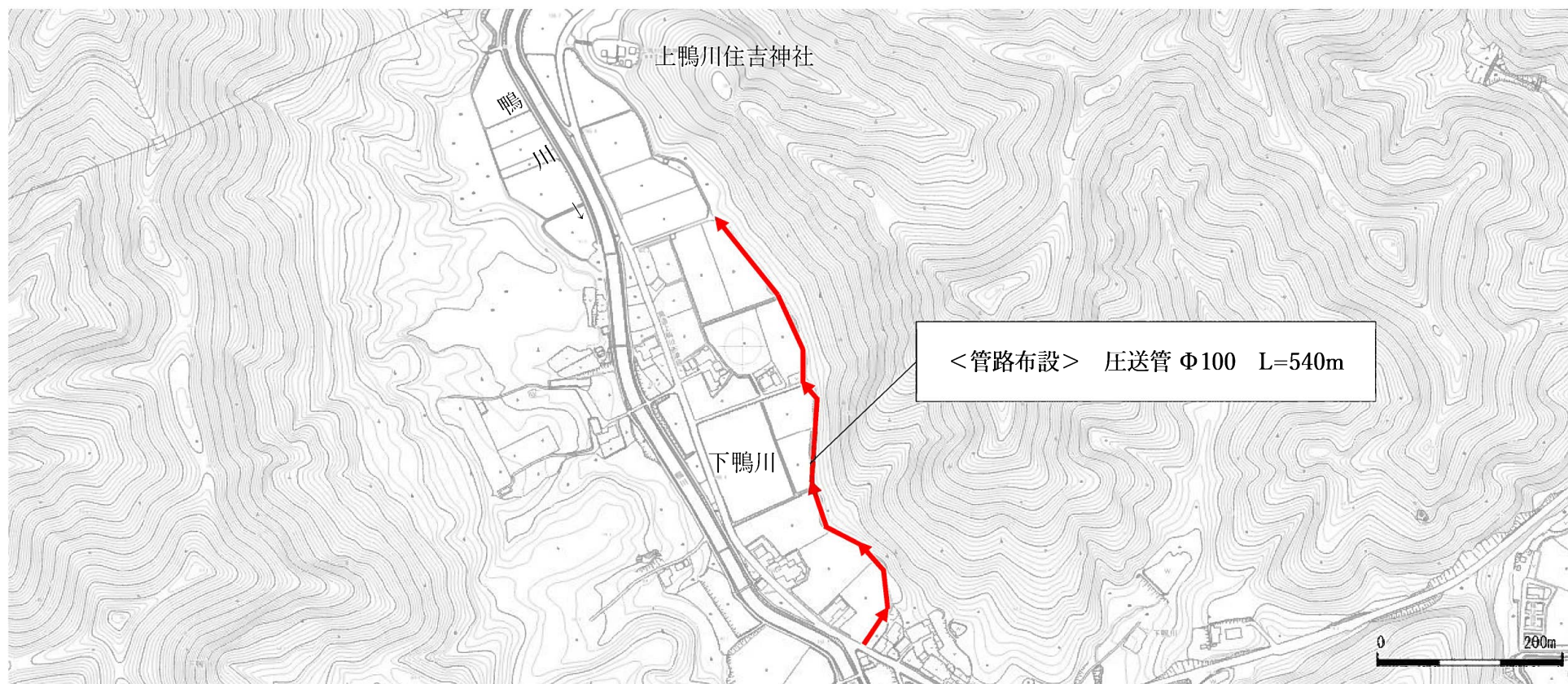
3. 下水処理場統合整備事業の進捗について

②秋津地区<計画平面図>



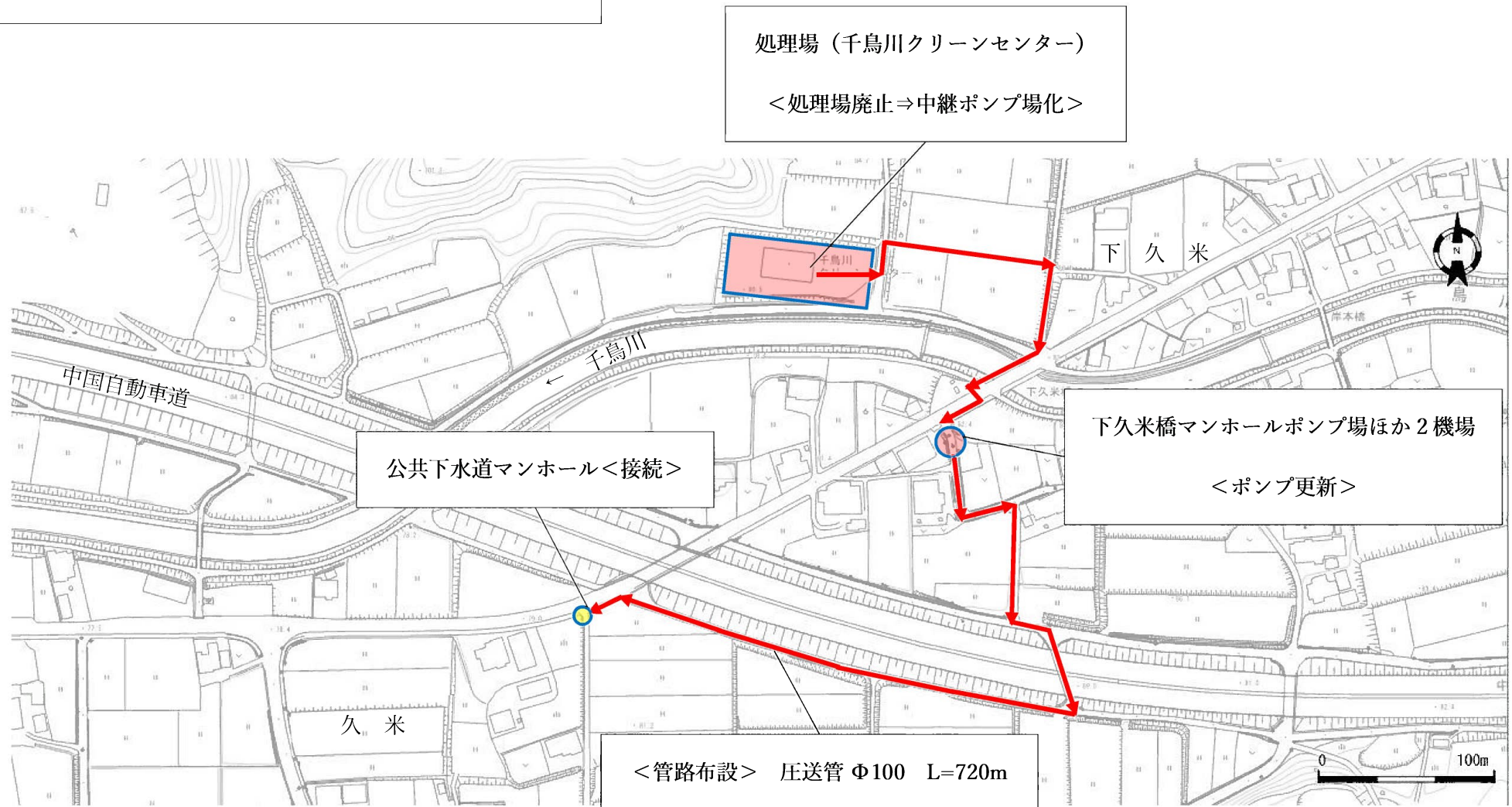
3. 下水処理場統合整備事業の進捗について

③下鴨川地区<計画平面図>



3. 下水処理場統合整備事業の進捗について

④上久米下久米地区<計画平面図>



これまでの審議会の開催内容及び今後の予定

開催年度	開催日	審議会	協議事項	備 考
平成 30 年 度	H31.3.26	第5回	現状と課題 ・ 水道料金の検討に向けた取組について ・ 下水道使用料の検討に向けた取組について ・ 経営比較分析表（平成29年度決算）	・ 事業概要 ・ 経営状況 ※経営戦略（投資・財政計画）及びビジョンの振り返り
令和 元 年 度	R1.7.29	第1回 ※諮問	水道料金、下水道使用料のあり方 ・ 現行の水道料金について ・ 現行の下水道使用料について	・ 公営企業としての料金・使用料と算定の仕組 ・ 全国の状況 ※研究会（国）の報告書より ・ 本市及び北播磨の状況 ※独自の分析結果
	R1.10.7	第2回	財政シミュレーション結果による収支見通しについて	・ 収益的収支計算書、資本的収支計算書 ・ 料金水準の算定
	R1.11.29	第3回	料金体系の検討	・ 料金体系の設定（個別原価の算定） ・ 料金算定期間における改定シミュレーション（新料金）
	R2.1.21	第4回	（予定）答申案の審議	取りまとめ
	R2.3.23	第5回 ※答申	（予定）答申案の取りまとめ	取りまとめ